

弥栄小学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和8年度第2回弥栄小学校学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和8年9月15日(火)午後2時45分から午後3時40分まで
- 3 開催場所 一関市立弥栄小学校2階わくわくルーム
- 4 出席者
 - (1) 委員 熊谷佳美(会長)、菅原玉枝(副会長)、佐々木幸子、中村ルミ子
中村美佐(副会長)、熊谷利春
 - (2) 事務局 熊谷利春(副校長)
- 5 議題
 - (1) 1学期まなびフェストアンケート学校評価結果について
 - (2) 学校支援活動推進について
 - (3) 弥栄っ子に望む姿について
 - (4) その他
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者 0人
- 8 協議内容等

- (1) 1学期まなびフェストアンケート学校評価結果について

校長から、資料2～8ページに基づき、アンケート結果と、検証改善の取組について説明した。

委員 市民センターでも地域づくりを行っているが、人が少なくなり同じことができなくなっている。児童会についても、これまでやっているからではなく、育てたい力に視点を置いてやることを絞っていくときになってきているのではないかな。PTAや職員とも協議の場を設け、何を大事にしていくのか話し合いこれまでやってきたことを見直して欲しい。

委員 (伝統を途切れさせる)寂しさも、もちろんあるが発想を変えていくことも大切である。一旦やめてやり直す発想ももたなければならない。

校長 PTAの親子文集を職員中心に行ってきたが、職員数も少なくなってきたことからPTA主体に切り替えていくことになっている。今年度は移行期間となっており、まとめ方をPTAの方々に伝えている。長く伝統的にやってきたことなのでなかなかPTAでもやめることができず、それでもPTA会員数は減ってきているところでどうしたらいいのか悩んでいるところである。

委員 学習発表会も、発表と展示を隔年で交互に実施したらどうか。子どもたちも先生方も大変そうである。そういうやり方もよいのではないかな。

委員 毎年発表したいという思いもあるかもしれないが、先ほどの話のように何を優先させるかというところを大事にしたらどうか。

委員 あれもこれもと頑張りすぎるとこなすだけとなり、なにを育てたいのか見えなくなってしまう。

校長 6年生は修学旅行に行ってきた。事前に調べる時間もまとめの時間も十分には取れず忙しい。改善は繰り返し行ってきたが、余裕がなくまだ苦しい。育て

たい力を焦点化させ、続けていきたい。

委員 宿題については量が多いということか。

校長 全校でそろえるように工夫をしている。それでも、そのときどきで担任よるところが大きい。

委員 宿題についても、何を指すのかというところを考えていきたい。

(2) 学校支援活動の推進について

事務局から、資料9・10ページに基づき、メディア利用の実態や学校支援活動について説明した。

委員 ノーメディアデーの取組とはどういったものか。

校長 家族が多いと難しいところである。メディアを見たり、途中でゲームをしたりしないで学習に取り組めればよいと考えている。メディア利用のルールを守れないのは決まった児童なので、夏休み前に個別指導を行った。タイマー機能を使うなど、子どもたちにも意識の高まりも見られた。

委員 SNSの影響がある子とない子では学力の差が大きくなり、先進国よりも後発国の方が学力は高まっている。外国では強制的な規制も始まっている。学校や地域レベルではなく、国レベルで考えていくべきではないか。

校長 メディアの不利益については繰り返し話している。分かっているが、今楽しいことが優先されてしまう。継続して伝えていきたい。

(3) 弥栄っ子に望む姿について

校長から、子ども達の様子について説明し、「考えること」「伝えること」「自己判断力」の育成が課題であることを伝えた。

委員 複式授業をみると、学習リーダーがいて自分達で学習を進められている。反面、本当は先生がいるはずなのにかわいそうだと感じる部分もある。

校長 先日の修学旅行では、自主研修のところで不安もあったが思い切って放した。十分に子どもたちだけで動いて歩くことができた。放して見守ることも大切であることを実感した。

委員 先日職場でワークショップの話し合いを取り入れた。みんなで考えると言う部分でとてもよかった。学校でも、ぜひ取り入れてみてほしい。

校長 研究会で、子どもたちのまなびの様子を指導主事の先生にもみてもらっている。話し合ったり、伝え合ったりすることは他よりも育っていると言われている。

委員 新しいことがどんどん増えて、子どもたちも先生方も一生懸命頑張っている。無理をして言わせなくても、子どもたち同士、子どもたちと先生で通い合う気持ちや伝え合う気持ちが育っていればよいと思う。今立派に言えなくてもしみ込んでいるものはあると思う。

(4) その他

事務局 第3回の日程を確認し、例年の内容に加え「学校規模適正化の説明」があることを伝えた。